



あたらしい年になりました

県議会議員 わたなべ美穂です!



わたなべ美穂後援会会長挨拶

あけましておめでとうございます。
皆様いかがお過ごしでしょうか。一昨年昨年と新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、福岡県でも「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」が断続的に発令され、社会活動がストップしておりました。昨年9月30日まででそれらが全解除され、完全にとは言えぬまでもようやく以前の日常を取り戻しつつあります。この原稿を書いている時点では「オミクロン株」の話題が出はじめており不安を消し去ることはできませんが、2022年が良い年であることを願ってやみません。

今年度わたなべ美穂は、福岡県議会に8つある常任委員会のうち県民生活商工委員会の委員長に就任するなど益々多忙を極めたなか充実の県議活動を行っております。活動の原動力である県政報告会(わたなべ美穂を囲む会)を1年半ほど開催できずにはおりましたが、昨年10月ようやく再開して年内に5回の開催を見ました。今年はぜひ市内44行政区すべてでの実施を果たし皆様とお目に掛かり直接声を聞かせていただきたいと、年頭にあたりわたなべ美穂共々楽しみにしているところでございます。

皆様にとって令和4年がより良い年でありますようお祈り申し上げます。

わたなべ美穂後援会 会長 大藪善治

囲む会

県政報告会再開!

感染症拡大防止の観点から中止していた県政報告会を、10月16日白川公民館を皮切りに再開しました。12月までに5ヶ所で開催し、様々なご意見・ご要望を頂戴しました。すぐにとりかかった課題も、時間をかけて改善すべき課題も、わたなべ美穂の政治活動になっています。また、皆様と久しぶりにお会いできてわたなべ美穂にとっても嬉しい時間でした。

市議会議員との意見交換会

11月11日、恒例となった市議会議員の皆さんとの意見交換を行いました。選挙間近の議員団との会議でしたが、13名の市議にご参加いただき、県の情報提供と活発な意見交換が行われました。

2年ぶりの開催! 五条区餅つきに参加しました!

12月4日、五条区の餅つきに参加しました。翌日は筋肉痛でした。準備をはじめ皆様お疲れさまでした。



12月議会報告

一般質問

昨年一学期に県内小・中学校の先生が74名も足りず、現場では大変苦勞されていました。2016年、同様の問題が起きた際、わたなべ美穂の指摘によって**県教育委員会は教職員の採用数を増やしこれに対応してきましたが、同じ問題が起きたため、その原因を確認したうえで今年の4月に問題が起きないように強く要望しています。**また、現在ブラック企業のように言われている教師の労働環境改善のため、教育業務支援員制度の拡大・継続や過剰に授業時数を確保している学校への対応など、具体的な提案を行っています。



代表質問

主な内容として、

- ①新型コロナウイルス感染症第6波に備えた病床確保、保健所体制強化
- ②男性育休の取得促進
→2017年取得率ゼロだった県警が1.3%へ増加しましたが、警察と教員は取得率が依然低い現状にあります。
- ③新県立美術館の整備と文化芸術振興
→新県立美術館は、大濠公園が100周年を迎える2029年度開館予定です。
- ④児童相談所の体制整備
→一時預かりの際、教師が一人しか配置されておらず、十分な学習支援ができていないことを指摘し、改善を求めました。
- ⑤気候変動に対する本県の施策

2月議会、会派代表質問決定!



2月議会は、次年度の知事の施政方針発表および予算を決定する、定例議会の中でも特に大切な議会です。そのため各会派もベテラン議員が登壇することが多く、わたなべ美穂もより身を引き締めて取り組んでいます。

太宰府市・商工会・観光協会への視察



10月25日、わたなべ美穂が委員長を務める県民生活商工委員会が視察で太宰府を訪れ楠田市長をはじめ、商工会、観光協会の皆さんと意見交換を行いました。観光業が基幹産業である太宰府市は、コロナ感染症拡大で受けた影響が大きく、県の施策に対する要望や観光振興のための活発な意見交換が行われました。

はるくんの思い出



生後半年の頃。

初めての離島!

「皆さんの声をお聞かせください!」

あなたとつなぐ県政 わたなべ美穂 事務所

WEBサイトもご覧ください!



〒818-0125 太宰府市五条 3-4-38 電話:092(918)1121 FAX:092(918)1128